



2F 看護師長 原 宣子

このたび、9月より2階病棟師長として勤務させていただくことになりました。本院の一般病棟での経験を生かし、分院の療養病棟で初心に戻り、スタッフと共に患者様、ご家族様に安心していただける介護・看護を提供できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



3F 看護師長 野木 和美

このたびは、分院開設にあたり、地域の方々、関係者の方々にご協力、お力添えいただきありがとうございました。9月1日にオープンを迎え、患者様、ご家族様によりよい環境を提供できるよう、私たちにできることは何かを考えながら、スタッフ全員で奮闘の毎日を送っております。入院療養の中でも、温かさや癒しを感じられるような病棟になっていけたらと思っています。そして、分院が皆様の「ひだまり」になれるよう、笑顔忘れずに頑張ります！よろしくお願いいたします。

たま日吉台病院分院 概要

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1142番地

■本院・分院の入院に関するお問い合わせは
Tel.044-955-8220
(総合相談部)へ

送迎バスあり(HP参照)
http://www.tamahiyoshi.or.jp

- 診療科：内科・リハビリテーション科・健康管理センター
- 医療設備：人工透析(10台)・人工呼吸器(10台)
MRI・マンモグラフィー・デジタルX線TV・CR
PACS・一般撮影装置・経鼻内視鏡
超音波診断装置 他



たま日吉台病院分院 医療保険適用 療養病床/137床 健診 透析 入院

健康管理センター

人間ドック・マンモグラフィー
脳ドック・他各種健診

詳しくは、右記
健診専用ダイヤルまで Tel.044-969-0454

透析センター

最新システムの導入により快適な透析治療が可能です。
災害にも対応できる次世代の透析センターを目指します。

■アクセスマップ



たま日吉台病院 一般病床/117床 療養病床/B2床 外来 入院

内科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・婦人科
リハビリテーション科・小児科

保育室から

納涼祭



8月5日に納涼祭が開催されました。保育室では、この日のために子どもたちが一生懸命練習を重ねてきた踊りを3曲披露しました。一人ひとりがお気に入りの浴衣や甚平を身に付け、いざ会場へ！

はじめは少し緊張気味の子どもたちでしたが、しばらくするとリズムに合わせてノリノリにニコニコの笑顔で可愛く踊ってくれました。

編集後記

地域に根付いた病院を目指し、たま日吉台病院は開院から24年目を迎えました。そして今年、地域のみなさまを始めたくさんの方々を支えられて、より地域医療を発展させるべくたま日吉台病院分院を開院させていただき運びとなりました。医療は日進月歩で進んでいきますが、看護・介護する気持ちや思いやりの心は今も昔も変わりません。分院開院により、より高度な医療を皆様に提供し、さらには安心して療養生活が過ごせるよう、より看護・介護を充実させていきたいと思っております。皆様のかかりつけ医としてたま日吉台病院が選ばれるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

編集委員 Y・T

みんなの広場
だまり

たま日吉台病院

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1105
TEL:044-955-8220 FAX:044-953-8199
E-mail: info@tamahiyoshi.or.jp



分院
開院
記念号



平成23年9月1日、
たま日吉台病院分院を開院しました!



8月25日の竣工式。職員一同身が引き締められました。

内覧会には川崎市の三浦副市長が視察に訪れ、当院の治療体制に大変興味を示されていました。

8月30日には小学校の子供たちを招いて、病院の職場体験イベントが行われました!



新富士病院グループ

医療法人社団【神奈川県】

晃進会

- たま日吉台病院
- たま日吉台病院分院
- よろこび(訪看)ほか

医療法人社団【静岡県】

喜生会

- 新富士病院
- ヒューマンライフ富士(老健)ほか

医療法人社団【東京都】

三医会

- 鶴川記念病院
- ひまわり(訪看)ほか

社会福祉法人【静岡県】

秀生会

- ヒューマンヴィラ伊豆(特養)
- ヴィラージュ富士(特養)ほか

医療法人財団【東京都】

逸生会

- 大橋病院
- ラポール高島平

社会福祉法人【神奈川県】

美生会

- ヴィラージュ川崎(特養)

『緑ある生活を治療と共に。』

高度療養型医療施設「たま日吉台病院分院」をご紹介します!



診察室

婦人科診察室、内視鏡検査室、それぞれにゆったりとしたスペースを設け、緊張を和らげます。



内視鏡検査 婦人科

検査室

エコー、心電図、眼底検査などさまざまな機器で検査いたします。



画像診断部

分院では健康診断にも力を入れており、一般レントゲンに加え、マンモグラフィー、MRIも導入しました。



一般レントゲン マンモグラフィー MRI デジタルX線TV

健診待合室

待ち時間もゆったりとお過ごしいただけます。



透析室

10床のベッドを設けた透析室です。緑を望める落ち着いた空間で透析治療を行います。



機能訓練室

リハビリによって身体機能を回復・維持します。



病棟



2床室 4床室 人工呼吸器対応ベッド

落ち着いた色調の床頭台を配置し、家庭的で生活感のある病室となっています。また、人工呼吸器、透析装置を設置した重症患者様用のベッドも設けています。

食堂兼談話室

緑に囲まれたゆったりとした空間で、患者様・ご家族様にくっついていただけます。



テラス

調剤室

薬剤師が使用するお薬について、患者様に分かりやすくご説明します。



栄養科

患者様の治療食を提供します。また、管理栄養士が患者様の栄養指導を丁寧に行います。



分院開院にあたって



院長 桑野 稔啓

【経歴】

佐賀県唐津市生まれ。東京慈恵会医科大学卒業。東京慈恵会医科大学付属病院にて2年間の内科研修後、同大学循環器・呼吸器内科入局。慈恵医大柏病院開院スタッフCCU勤務。静岡県清水市(当時) 社会保険協が丘病院内科医長兼併設健診センター、慈恵医大病院、本院循環器・呼吸器内科助手、医療法人鳳生会成田病院内科を経て今日に至る。

医学の進歩は再生医療や遺伝子治療をはじめとし、その高度化は日を見張る勢いで加速しつつあります。一方、人の体は寿命こそこの半世紀に延びはしたものの、人生の質も合わせて向上したかについては、大きな疑問を感じ得ないのが実情と思われます。

少子高齢化に伴い、医療資源の共有にも陥りが見え始め、毎日の診療を窮屈に感じるのには私だけではないと思います。病状にかかわらず、医療開始の日を起算とする病床群の区別には財源確保以外には何の意味もありません。ささき不透明なこんな中、私達の病院は行き場を失った患者様の最後の砦となるべく歩き始めました。頼るものは職員・同志の相互の信頼と医療に対する情熱にほかなりません。「資本(支えてくるもの)」は「品性」と「誇り」に裏付けられる「知恵」です。さあ、「高度療養病床」のはじまりです。

ここに集まった運命に感謝し、力を合わせて前に進みたいものです。



医師 白川 妙子

【経歴】

長崎県長崎市生まれ。熊本大学医学部卒業。熊本大学関連病院、ドイツ・ハイデンベルクの胸部疾患病院の客員医師、再春荘病院呼吸器科(熊本)、聖マリアンナ医科大学呼吸器内科講師を経て今日に至る。

医師 白川 妙子

九州生まれの九州育ちですが、2004年に神奈川県に移ってきました。長年、呼吸器内科の臨床を行ってきました。当院ではさまざまな問題を持った高齢の患者様を、トータルで診なければならないという難しさもありますが、それだけにやりがいのある仕事だと思っております。チームワークを大切に、素晴らしい病院を創り上げることができるよう努力していきたいと思っております。



医師 中野 寿美

【経歴】

神奈川県川崎市生まれ横浜育ち。東京女子医科大学卒業。東京大田区の大田病院で内科研修後、腎臓・透析医療に従事。以後、大田病院所属大森東クリニック所長を経て今日に至る。

医師 中野 寿美

透析や人工呼吸器を必要とするために、自宅で生活するにはいくつものハードルがあります。しかし、このような患者様が長期入院できる病院は数少ないのが現状です。当院は、この現状を打破する一歩として開設されました。

透析や呼吸器が必要な状況でも、患者様たちが、自然に、心静かに、笑ってすごせますように、そして、可能な限り、家へ帰る、自宅生活する方向も一緒に探していきたいと思っております。

医師になって17年間、ひとつの病院で働いてきました。どんな人にも良い医療を、「愛情」をもって患者様たちのために頑張っている病院でした。そこで多くの患者様たちや仲間たちと出会い、彼らが私を育ててくれました。彼らへの感謝を忘れず、新しい病院で出会う患者様たち、仲間たちのために、がんばってまいります。「愛情とは他者が幸せをつかむよう望む気持ちです」ダライ・ラマ14世の言葉です。



統括看護部長 中澤 美奈子

統括看護部長 中澤 美奈子

騒音や夜間工事などで大変ご迷惑をおかけしたにも関わらず、ご協力いただきました地域の皆様感謝申し上げます。

健康管理センターは、ゆったりと、リラックスして健診を受けられるように、また、透析室は長時間を要する治療のため、落ち着いた室内にしました。さらに、透析をしながらのスキンケアを取り入れていく予定です。病棟では、透析や人工呼吸器を装着した長期入院の患者様も受け入れ可能となりました。療養生活を過ごされていく時間を大切に、家庭的で穏やかな日々を感じていただけるような看護・介護を提供していきたいと考えています。

私たち看護部は、「私たちにできること、私たちに望まれていることは何かを考える」というテーマを建設的に考え、いろいろな取り組みにトライして、泣き・笑いをしながら、たま日吉台病院分院を職員全員で作っていきたくと考えております。



事務長 金子 信之

事務長 金子 信之

はじめまして、分院オープンに伴い事務長を拝命しました。金子 信之です。どうぞよろしくお願いいたします。

震災の混乱がまだ冷めない今年の4月、系列の病院から異動した頃、ここは赤茶色の鉄骨が数本建っているだけの土地でした。それが、この半年夢ではないかと思うぐらいあっという間に「完成」オープン。そして、私の新病院での活動がスタートしました。

私自身は過去の職歴を振り返りますと病院勤務経験が少ないため、今までは患者・家族側におりました。その経験を生かし、より患者様の目線に近い、患者様優先の発想や、今までの考えにとらわれない発想で、スタッフ一同最善の努力をしたいと考えています。